

新島村 議会だより

第 69 号

平成 26 年 6 月



平成 26 年 第 2 回 定 例 会 (6 月)

会 期 日 程

第 2 回定例会は平成 26 年 6 月 12 日に開催され、条例改正各種補正予算などを審議しました。

も く じ

| | |
|-----------------------|-------|
| 一般質問から | 2 ~ 5 |
| 議員視察研修 | 6 |
| 議長の目 ^め ランド | 7 |
| 議長の四季報 | 8 |
| 編集後記 | 8 |

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をたずることができます。

表紙は語る

アイア・イ・ヘエア・ラ……、と歌いながら優雅に踊るのは「アロヒ・アイラナ・ムーキマ」の女性の面々。それは「輝く島・新島」を意味するハワイ語で、当地でフラダンスを主宰する会の名称。

小久保利佳氏が代表を務め、2006年5月に発足し今年で9年目を迎える。メンバーは25名で20代から70代までの広い年代層にわたり、その他初心者コースに8名、子供コースに8名

所属している。
毎週木曜日が練習日となっていて勤労福祉会館や青葉会館のフロアを借りて熱心かつリラックとした雰囲気です。会の活動が少しでも島の活性化やアピールにつながればというこゝとでこれまで島じまん、島民まつり、お台場のくさや試食会など各種イベントに積極的に参加している。



宇山誠二議員



防災対策について

問 災害を最小限に食い止めるためには、訓練を積み重ねることが大切であると思

う。今後の訓練は津波

想定並びに土砂災害に対する訓練と想像するが、具体的にどのような実施するのか？

答 現在の訓練に加え、夜間の訓練や町会ごとに自主防災組織を作り、それぞれで行って行く。

土砂災害訓練は、危険地域ごとに伝達訓練や職員による避難所開設や大規模土砂災害を想定した避難訓練を実施する。



山本均議員



この夏の観光対策はどのようになるのか？

問 夏に向けどんな方針で臨み、どこに

問題がありこれまでの事業を見直し新たにスタートするのか？

答 これまでの事業で成果が上がっ

ているものや意義が認められるものは続けていく。イルカ観光ツアーを今夏の目玉品として検討に入りたい。若年層の民宿経営者が増加するよう全力で支援する。観光協会や観



光業を営んでいる業者と同じ目標を掲げ、新島村の観光を一致団結して全力で努力する。

住民公聴会の感触は？

問 公聴会の実相はどのようなものだったか？村長の評価、印象は？また反省点、改善すべき点は？

答 若郷地区では43名が参加し、約30件の要望や提案があった。本村地区では38名が参加し、22件の要望や提案。式根島地区は58名が参加し、同じく約40件あった。

これから秋口に住民対話集会を開催して建設的な要望や提案を来年度予算で実施し、住民の声を行政に反映させたい。

問 「新島村ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例」の実施は？

答 本条例の実施に当って現在の進捗状

況は？

答 現在、条例施行規制案が完了し、議会と調整し早急に規制の公布を行う。予算措置は今年度は考えてないが、条例の趣旨を住民や来島客に周知、喚起し、環境衛生及び美化に努めていく。

村の新たな防災計画はどうなっているのか？

問 南海トラフ巨大地震の襲来が見られ、基本となる防災計画が今年度中に策定される。この計画の中身は？

答 25年度事業の津波避難計画、地域防災計画の資料を元に事業計画を進めていく。今回の改正の重要点は巨大地震、津波から住民の命を守ることを目

標に作成した。避難場所の変更、追加、避難行動要支援者対策、ハザードマップ等が主な変更となる。また土砂災害対策として避難情報、指示、勧告と情報伝達を追加した。

村の避難訓練は大丈夫か？

問 今年の避難訓練はどんな被害を想定し、どんな方法で実施するのか？

答 現在の訓練と違った訓練を行ない、参加者10割を目標に努力し、新島村全体で防災意識を高めていく。

問 小中学校の防災教育はどうしているのか？

答 自らの安全を自ら守れるようになることを第一の目的

に小学校では年間8、12時間、中学校では7時間程度学習している。教材は東日本大震災の記録映像など視覚教材を主に使って、「自らの安全を自ら守れるようになる」よう指導をしている。

青沼進二議員



村長の政治姿勢について

問 アベノミクス効果について、新島村にはどのような効果があると考えるか。

答 新島村としては直接効果が表われないとは言い難いが、雇用状況も良くないつつある。「島じま」が新島、式根島に来て



くれるよう観光振興にも傾注していく。

問 集団的自衛権の行使容認は、憲法第9条改正と戦争への道につながると考えるが見解を。

答 この問題については、私が本議会において明言することは避けたいと思うが、基本的に戦争への道につながるようなことは避けるべきと考える。

問 消費税増税を中止すべきとの立場を明確にすべき。増税は村に財政難を強いると考えるが見解を伺いたい。

答 新島村では、物件費、普通建設事業費に与える影響は大きい。私の立場では消費税率の引き上げに対して、反対賛成は申し上げることはできない。

教育委員会制度改正について

問 教育委員会制度改正については、明確に反対の意思表示すべきでは。

答 一定のバランスを取りつつも、地方行政の活性化が図られるものと評価している。村長と教育委員会との連携、協力が緊密になることを予想している。

問 「道德教育」の教科書化は、愛国心のおしつけと国のために戦場へと送る狙いと「教育勅語」にながらる危険があり反対の意を示すべきでは？

答 現在、文科省で検討が進められている。内容を含め現時点では解らないので、反対の意を示すのは不適切と思う。「教

育勅語」の復活に繋がるとのことは、少し飛躍しすぎて、教科書化が「教育勅語」の復活とは考え難い。

問 防災震災対策について大島町岡田港の船待ち避難タワー設置を、新島・式根島に同様の設置を予算化しては？

答 村独自で設置する避難タワーは、前浜付近に1ヶ所、住民、来島者を対象に検討している。式根島・若郷地区については、都の計画が確定しだいたい必要な場所に設置を検討する。



森田一議員



昨年5月に発表された南海トラフ巨大地震による東京都の被害想定では、新島村の人的被害は最大千三百人を超えると言われていたが、いまだ村からの防災対策についての具体策が示されないのはなぜか？

問 村は東京都の指示を待つだけでなく、村の計画をいち早く提示して、必要な予算の確保に向けてより早く動ける体制を

取ることが大事だと思いが村長の見解は。

答 トップの責任を自覚し、今後はスピード感をもって防災計画にしっかり取り組み、進めて行く。

問 若郷地域の防災訓練の確立と避難所の設置は。

答 避難路及び避難施設の設置について早急に検討する。



徳島県・神山町グリーンバレー視察 (前編)

議員 青 沼 進 二

神山町は徳島空港から市内を通過し、吉野川を遡上しバスで1時間ほどのところにあるかなり山深い地で、人口は6千人余り。その神山町を有名にしたのはあるプロジェクトを実施することにより過疎の町が人口の増加に転じたということで、そのプロジェクトとはいかなるものか、大いに関心をそそられ新島村にも応用できるのではないかと、そのような期待を抱いての視察となった。

神山町農村環境改善センターを拠点にNPO法人グリーンバレーが進めているもので、まずはスタッフの樋泉氏(一時期、新島村に滞在していた)に案内してもらったのは、古民家を改造して東京のIT企業・サンサンがサテライトオフィスとして利用している施設。

見てのとおり明るい開放的な佇まいで中では十名ほどの社員が、めいめい液晶の画面とにらめっこ、あるいはキーボードを叩いていた。時間に追われている感じはなく、マイペースの雰囲気濃厚。この日は地元の人がキッチンで昼食の支度をしてい



交流の食事会とのこと。この他にこの敷地には蔵を改造した資料施設や昔の芝居小屋があり、今後の発展の可能性を伺わせた。

次はバスで5分ほど行ったところにある縫製工場の廃屋を利用したやはりサテライトオフィス。内部は広くほんの一角を仕事場にしている。あとはイベントの展示室になったり、会議室になったりと様々な使われ方をされているという。備え付けの什器はすべて廃品の再利用。このときはオフィスに和服姿の社員が一人、新しいソフトの開発をしていた。

最後にセンターへ行き、グリーンバレーの生みの親でもある大南信也理事長の講演を聴き、質疑応答となった。

議長の目ランド

〇〇〇商工会「商業便利度向上調査事業」公聴会に参加して〇〇〇

商工会の商業便利度向上事業が24年度から3か年実施され、まとめの本年度、その公聴会が開かれ私も参加させていただいた。

この調査の目的は、現在の島内、島外環境をふまえ、地域の商業活動の実態を把握し、潜在的な商業ニーズを引き出し、新たな商業振興計画を作り上げることで、新島村の商業の発展と産業基盤の強化を図るとしている。このような背景には新島村の事業所数の減少傾向、特に飲食店・宿泊業・小売業の減少の実態を把握し、その活性化の方向を検証する狙いがある。商工会ではこれまで会員と地域コミュニティーの活性化のために「もやいの絆事業」「シナジースキーム事業」「ケイタリング事業」そして多くのイベント事業を実施してきた。多くは一過性の事業やイベントで、地域の活性化に寄与してきたが目立った効果は現われていないような気がする。



新島の民宿は料理が悪い、だから「リピーターが付かない」「客も少ない」などと村の中でよく聞かれたが、私は「それは過去の話で現在は施設も立派になったし、料理もおいしいと聞いている」そんな話をしてもなかなか信用してもらえなかった。

今回の調査を見ると「宿泊施設満足度」「食事、土産、交通の満足度」とも評判の良かった式根島をほんの少しだが、上回り新島の評判は良かった。新島は食事が悪いとの風評があったが、今回の調査で払拭できたように思う。今後は「食事もおいしい新島」としても宣伝していくことも可能かも？これは今回商工会が実施した『商業便利度向上調査』のほんの一例です。

このほかの事業についても細部にわたり調査を実施している。商工会におかれでは調査を十分分析し、新島の産業基盤の強化を図り、元気のある村づくりに寄与していただきたい。

議長 前田 邦弘

● ● 議長 の 四 季 報 ● ●

- 4 月 7 日 新島小学校入学式に出席
- 4 月 8 日 新島中学校、新島高等学校入学式に出席
- 4 月 10 日 大島支庁港湾課長来島し、村長と応接
- 4 月 12 日 新島村商工会による商業便利度向上調査事業の公聴会に出席
- 4 月 21 日 議会議員公務災害補償組合会議に出席
- 4 月 22 日 防衛省及び東京都各局を議員 9 名と村長で表敬訪問（23 日まで）
- 5 月 10 日 第 23 回新島トライアスロン大会開会式に出席
- 5 月 14 日 第 1 回東京都町村議長会議長定期総会・議員講演会に出席
- 5 月 15 日 議員視察研修（徳島県神山町・高知県黒潮町）（17 日まで）
- 5 月 20 日 東京都議会総務委員会が新島村で開催され出席
- 5 月 21 日 新島村商工会総代会に出席
- 5 月 24 日 第 12 回島じまんが東京竹芝栈橋で開催され出席（25 日まで）
- 5 月 27 日 全国町村議会議長・副議長研修が都内メルパルクホールで開催され出席（28 日まで）
- 6 月 4 日 議会運営委員会
- 6 月 12 日 第 3 回定例会

編 集 後 記

前号の表紙を飾る写真からこれまでとガラッと趣向を変えて村の生活をテーマにしたものに衣替えしました。その中でも村で暮らす住民のアフターファイブはどうなっているのか？一日の仕事を終えてそれからの時間をどう過ごしているのか？酒を飲むだけではないでしょう、テレビを見ているだけではないでしょう。

ということとどんなことをして余暇を楽しんでいるのか、そこにスポットを当てて今様の村の生活の楽しみ方、さらにはそのトレンドや特徴など全体像が浮かび上がってくれば村の一面が見えてくるのではないかと欲張った目論見を秘かに持っています。

前号では日本の伝統的な踊り、今号はワールドワイドなフラダンスと、一見正反対な感じですが、周囲を海に囲まれた島ということと心のどこかでつながっているのかもしれません。時期的にも残暑厳しい折、南国の椰子の木陰の涼風を連想してみるのも一興かと思えます。

さてどこまで目標を達成できるかわかりませんが、住民のみならずのご協力は欠かせません。有力な情報やぜひこの課題を取り上げて、と希望される方は各議員、または議会事務局までご一報下さい。

● 広報編集委員長

山本 均